

小学1年 国語 本はともだち 「むかしばなしをよもう」

ねらい

- ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。
- ・文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。

学習展開（8時間）

・第一次（2時間）

- ① 知っている昔話や読んでみたい昔話について交流し、自分の選んだ昔話の感想を伝え合う。
- ② 「いろいろな昔話を読んで友達に知らせる」という学習課題を確認し、教師作成の「お話カード」を見て学習の見通しをもつ。

・第二次（3時間）

- ① 「おかゆのおなべ」の読み聞かせを聞いたり、自分で読んだりして、内容の大体を確かめる。
- ② 心に残ったことを書き、友達と交流する。

・第三次（3時間）

- ① 読んだお話の中から、紹介したい1冊を選ぶ。
- ② おかゆのおなべを基に、お話カードの書き方を確認する。
- ③ お話カードを書き、友達とカードを読み合う。学習の振り返りをする。



指導のポイント

・共通の昔話でカードを書く

→お話カードの書き方の確認の場面では、教師が選んだ昔話を読み聞かせし、感想を交流した。その後、おもしろかったところ、こころにのこったことなど、紹介したいことや登場人物を共有し、カードと一緒に書く活動を行った。書くことに抵抗感のある児童も見通しをもつことができ、自分のお話カードを書く活動につながられた。

学校図書館との関わり

- ・学校司書から、この単元に紹介されている本と、児童の実態に合わせた昔話を児童の人数分選書してもらった。
- ・自分で読むことが苦手な児童にも紹介したい本を選ぶことができるようにするために、絵本の読み聞かせもしてもらった。

